

新展示紹介 切り株の上は、居心地がいい

あたらしい展示室の中に、1本の大きな木の切り株がでんと座っています。高さは約2m、根元の直径は約1.8m あります。この木は立山杉と呼ばれるスギで、立山のしものこだいら（標高1350m）から許可をもらって運んできたものです。

切り株の上には植物がたくさん生える

株の上には、枝が大きくたわんだヤマウルシの木やピンク色の花を咲かせるイワウチワ、白い花をつけたチゴユリ、もちろん次の世代として育つであろう立山杉などが、すき間なくびっしりと生えています。

そのわけは？

地面よりも株の上のほうが、いつも明るいからです。林の中は、上ほど明るく下ほど暗くなっていて、背の高い木と草の陰になる地面はもっとも暗い場所です。背の低い植物の中には、この暗さに耐えられないものも多いのですが、運良く明るい場所に芽生えることができると、そこで生き残ることができます。

さらにこの株は、冬に4mも積もる雪に完全にうまってしまいましたが、春になって雪が少しずつとけてくると、株のてっぺんが早く顔を出します。切り株の上に



は春が早く訪れるというわけです。切り株の上は、植物の生長にいい条件がそろっているのです。

たてやますぎ 切り株

おおた みちひと
太田 道人